

ELECOM

Laneed
Easy Network Solution Provider

Switching HUB

スイッチング ハブ

■ LD-SW08C

10/100BASE **T** **TX** × 8

User's Manual

ご注意

- ・ 本書の著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- ・ 本書の内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- ・ 製品の仕様・価格および本書の内容に関しては、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。
- ・ 本書の内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、当社ユーザサポートまたは販売店までご連絡願います。
- ・ 実行した結果の影響につきましては、上記の理由にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ・ 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- ・ 本書に掲載されている商品名/社名などは、一般に商標ならびに登録商標です。

10/100Mbps対応スイッチングHUB

LD-SW08C

User's Manual

● はじめに ●

このたびは、LaneedのスイッチングHUBをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品は、IEEE802.3/IEEE802.3u/IEEE802.3xに準拠したポートを8ポート搭載したスイッチングHUBです。スイッチング機能により本製品を中心とした様々なネットワークが構築できます。

このマニュアルでは、本製品の機能や各種の設定、設置方法について説明しています。

本製品を正しくお使いいただくために、このマニュアルをよくお読みください。また、このマニュアルは大切に保管し、必要なときにお読みください。

製品の仕様・価格は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用するために、以下の事項を必ずお守りください。これらの事項が守られないと、けがや故障、火災などの原因となります。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事柄を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがある可能性があると思われる事柄を示しています。

△ 記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。

⊘ 記号は、行なってはならない禁止事項があることを示しています。

● 記号は、必ず行なっていただきたい指示事項があることを示しています

警告



本製品の取り付け／取り外しをするときは、パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、電源ケーブルをACコンセントから抜いてください。

電源ケーブルがACコンセントに接続されたまま、取り付け／取り外しを行なうと、感電および故障の原因となります。



本製品の内部やケーブル、コネクタ類に子供の手が届かないように機器を配置してください。

子供がさわって、けがをする危険があります。



本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示にしたがってください。



本製品の分解や改造や修理を自分でしないでください。

火災や感電の恐れがあります。



濡れた手で本製品に触れないでください。

電源ケーブルがACコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、ACコンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。



煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐに本製品やパソコンの電源をOFFにし、ACコンセントから電源ケーブルを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。



本製品を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

本製品は精密な機器ですので衝撃を与えないように、慎重に取り扱ってください。
衝撃は、本製品の故障の原因となります。



本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。

液体や異物が内部に入ったまま使用を続けると、ショートして火災になったり、本製品およびパソコンの故障の原因となります。

注意



パソコンおよび周辺機器の取扱いは、各マニュアルをよく読んで、各メーカーの定める手順に従ってください。



各接続コネクタや吸気口のチリ・ホコリ等は、取りのぞいてください。故障の原因となります。



次の場所には、設置および保管をしないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

- ・ 強い磁界、静電気が発生するところ
- ・ 振動が発生するところ
- ・ 平らでないところ
- ・ 温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
- ・ 直射日光が当たるところ
- ・ 火気の周辺、または熱気のこもるところ
- ・ 漏電、漏水の危険があるところ
- ・ ほこりの多いところ



本製品を長期間使用しないときは、電源ケーブルをACコンセントから抜いておくようにしてください。

もくじ

はじめに	1
安全にお使いいただくために	2
もくじ	4
1.パッケージの内容を確認する.....	5
2.ユーザサポートと製品の保証.....	6
ユーザサポートを受けるまで.....	6
ユーザサポートについて.....	7
製品の保証について.....	8
3.本製品について.....	9
特長.....	9
4.スイッチング HUB について	10
スイッチング HUB とは	10
MAC アドレス.....	11
フルデュプレックスとハーフデュプレックス.....	11
N-WAY 自動ネゴシエーション	13
フローコントロール/バックプレッシャー.....	13
5.各部の名称とはたらき.....	14
6.ネットワークの構成を決める.....	16
スタンドアロン(スター型)	17
カスケード接続.....	18
7. 設置と接続をする	19
設置の前に	19
接続する	19
8.困ったときは.....	21
Laneed サポートセンターへ連絡する前に	22
9.仕様.....	23

1. パッケージの内容を確認する

本製品のパッケージには、次のものが入っています。全部そろっているかお確かめください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店、またはLaneedサポートセンターまでご連絡ください。

LD-SW08C

- ・スイッチング HUB 1 台
- ・電源ケーブル 1 本
- ・ユーザズマニュアル(このマニュアルです) 1 冊
- ・保証書およびユーザ登録カード 1 枚

2. ユーザサポートと製品の保証

ここでは、本製品の保証とユーザサポートについて説明しています。お使いになる前に、ユーザ登録を済ませておいてください。

ユーザサポートを受けるまで…

ユーザサポートは、ユーザ登録されているユーザの方を対象に行なっているサービスです。ユーザ登録されていない場合は、ユーザサポートを受けることができません。また、本製品に付いている保証書は、内容をお確かめの上大切に保管してください。ユーザ登録は、ホームページ上でのオンライン登録とユーザ登録カードを送付する方法があります。

■ホームページからのオンライン登録

ユーザ登録は、ホームページからオンライン登録できます。以下のURLアドレスにアクセスし、必要事項を入力して、登録してください。登録が完了すると、登録完了の電子メールが送信されます。なお、オンライン登録されますと、ユーザ登録カードを返送していただく必要はありません。登録された方には、電子メールで新製品情報、サポート情報をお届けします。

<http://www.elcomlaneed.com/>

●ユーザ登録画面
(画面は変更される場合があります。)

■ユーザ登録カードでの登録

電子メールアドレスだけをお持ちでオンライン登録ができない場合や、大量に製品をご購入いただきオンライン登録に時間がかかる場合は、ユーザ登録カードに必要事項をご記入の上、ご返送ください。

番号を控えておきます。

●S/N品番

●ユーザ登録カード

ユーザーサポートについて

■Laneed サポートセンター

本製品をお使いになっているときに、何らかのトラブルが起きたときや、操作方法や使いかたがわからなくなったときには、Laneedサポートセンターにご連絡ください。

- ・電話番号 03-3444-5571
- ・FAX番号 03-3444-8205
- ・受付時間 月曜日～金曜日 10:00～12:00 13:00～17:00
(夏期・年末年始特定休業日、祝祭日は除く)

※FAXによる受信は、24時間受け付けています。

■Laneed ホームページ

Lanned製品のサポートをホームページ上でも行なっています。ご利用ください。

Lannedホームページアドレス <http://www.elcomlaneed.com/>

■エレコム総合インフォメーションセンター

ご購入前の製品についてのお問い合わせは、エレコム総合インフォメーションセンターにご連絡ください。

- ・電話番号 03-3981-4491
- ・受付時間 月曜日～金曜日 10:00～12:00 13:00～17:00
(ただし、祝祭日は除く)

■FAX 情報サービス

エレコム製品に関する最新情報を24時間いつでもFAXでお届けします。お近くの下記サービス情報BOXセンターにお電話をおかけください。ガイダンスにしたがって取り出したBOX番号をご指示ください。

東京 03-3940-6000／大阪 06-6455-6000／名古屋 052-453-6000
福岡 092-462-6000／札幌 011-210-6000／仙台 022-268-6000／広島 082-223-6000
メインメニュー BOX番号 5|5|9|9|0|0

※在庫・納期・価格などに関するお問い合わせは、各営業拠点へお願いいたします。

※住所などについてはこのマニュアルの巻末に掲載してあります。

製品の保証について

■保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料となります。詳細については保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合、当社は保証の責任を負いかねます。ご注意ください。

- ・ 当社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・ 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・ 本製品をお使いになって生じたいかなる結果、および直接的・間接的なシステム/機器およびその他の異常

■修理の依頼

保証期間中に故障した場合には、故障した製品と保証書および修理依頼書を添えて、下記修理センターにご依頼ください。修理品のお問い合わせについては、**エレコム修理センター**までお問い合わせください。

修理品ご送付先

- ・ 住 所 〒 192-0904 東京都八王子市子安町 4-19 セキエレクトロニクス(株)内
エレコム修理センター

なお、上記住所は修理品受付のみになります。

修理品についてのお問い合わせは、下記の連絡先をお願いします。

エレコム修理センター(お問い合わせ窓口)

- ・ 電話番号 03-5950-4410
- ・ FAX 番号 03-5950-4420
- ・ 受付時間 月曜日～金曜日 10:00～12:00 13:00～16:00
(夏期・年末年始特定休業日、祝祭日は除く)

3. 本製品について

ここでは、本製品の特長について説明します。

特長

●IEEE802.3/IEEE802.3u/IEEE802.3x Repeater Class II に準拠

IEEE802.3/IEEE802.3u/IEEE802.3x に準拠した 10BASE-T/100BASE-TX ポートを 8 ポート搭載。IEEE802.3x により、100Mbps のフルデュプレックス時はフローコントロール、100Mbps のハーフデュプレックス時にはバックプレッシャーコントロールが動作します。

●スイッチング機能により高速転送を実現

各ポートに接続されたステーションは、スイッチング HUB 内の MAC アロケーションテーブルへ自動的に記憶されます。従来のシェアード HUB のようにすべてのポートにパケットを伝送するのではなく、送りたいポートにのみパケットを伝送し、高速で効率の良いデータ転送ができます。MAC アドレスは 8K ノードまで記憶可能です。

●N-WAY 自動ネゴシエーション機能で常に最適な伝送速度を維持

各ステーションポートには、接続されているネットワークデバイスの速度やモードを検知し、自動的に最適な速度でデータが伝送される N-WAY 自動ネゴシエーション機能を搭載しています。10Mbps/20Mbps/100Mbps/200Mbps のいずれかの速度で接続され、常に最高のパフォーマンスでデータの送受信が行なえます。

●コンパクトサイズで設置場所を選ばない設計

筐体にはメタルケースを使用して、コンパクトサイズながら高い信頼性を保っています。

●HUB の増設に便利なアップリンクポートを搭載

カスケード接続時にストレートケーブルで HUB の増設が可能なアップリンクポートを採用しました。アップリンクポートを使用してカスケード接続をする場合は、増設する HUB のステーションポートにストレートケーブルで接続してください。

●HUB 本体と各ポートの状態をランプで表示

正面部のランプ(LED)により、HUB 全体の動作だけでなく、各ポートの状態や送受信時のエラーも確認できます。

●フィルタリング機能に信頼性の高い Store&Forward 方式を採用

データの伝送時に、受信パケット(フレーム)を蓄積し、フレーム末尾の FCS までも検査した後にデータを送信する Store&Forward 方式を採用したことにより、信頼性の高いデータ伝送を可能にしました。

フィルタリングは 10Mbps で最大 14880Packets/Port、100Mbps で最大 148800 / Port になります。

4. スイッチング HUB について

本製品は、10BASE-T/100BASE-TX規格のスイッチングHUBです。ここでは、通常のHUBとスイッチングHUBの違いや本製品の特長である機能について説明します。

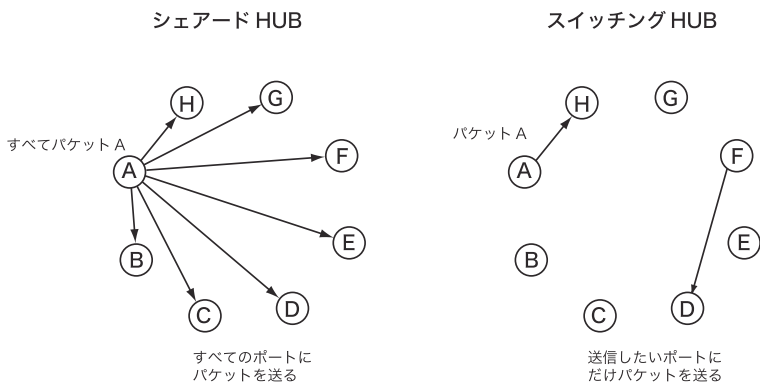
スイッチング HUB とは

通常のHUB(シェアードHUB)では、端末から端末、またはセグメント上に送信されたデータをパケットと認識せずビット信号で伝達します。これに対して、スイッチングHUBはパケット単位でデータを送信します。

パケットの中には、MACアドレス(宛先アドレスと送信元アドレス)が組み込まれていますので、スイッチングHUBはこのMACアドレスをMACアロケーションテーブルに保存することによって、そのアドレスの存在するセグメントにのみパケットを送信することが可能です。

通常のHUBだけのネットワークでは、端末台数の増加と共にトラフィック(通信量)が増加することによってコリジョン(データ衝突)が多発し、ネットワークのパフォーマンスが急速に低下するという問題が起こっていました。

スイッチングHUBでは、これらの問題を解決することが可能です。



MAC アドレス

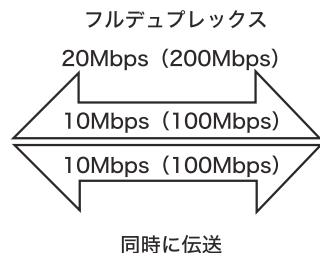
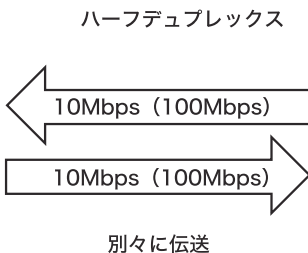
ネットワーク上のすべてのノードは、MAC(Media Access Control)アドレスと呼ばれる固有のアドレスを持っています。

本製品は、このアドレスをMACアドレステーブルに8192ノードまで保存できます。これにより、各ポートはすべての接続されているネットワークのノードの位置を記憶でき、伝送経路上のパケットがどこから送信されたものであるのか、またどこへ送信されるのかということを識別します。アドレスが、MACアドレステーブルに一度保存されるとその保存されたノードの位置にあるデータパケットは、即座に直接送信されます。

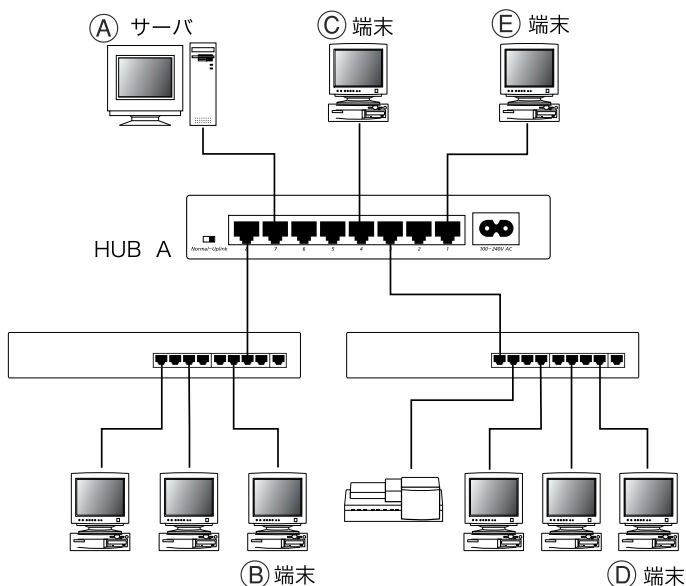
フルデュプレックスとハーフデュプレックス

本製品にはバッファメモリが搭載されています。このバッファメモリを利用すると、ある端末からある端末にデータを送信した際、送信先の端末がビジー状態であった場合に、スイッチングHUBのバッファメモリにバッファリング(蓄積)され、ビジー状態から開放された時に送信されます。

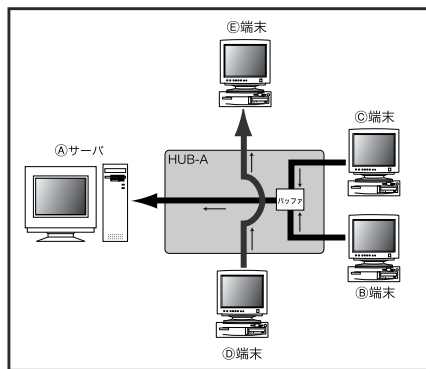
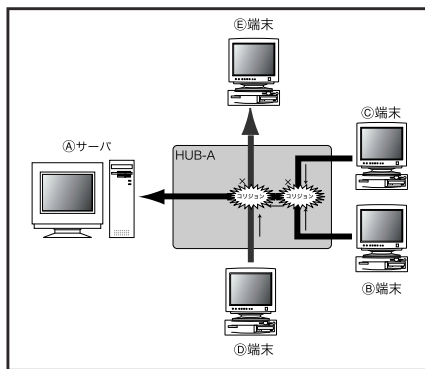
また、通常のHUBではハーフデュプレックス(半二重)転送しかできませんでしたが、ツイストペア(2対4芯式)ケーブルを用いたスイッチングHUBではバッファメモリを使用することにより、同時に双方向通信を行うフルデュプレックス(全二重)転送が可能になり、サーバ機を設置している場所のようにトラフィックが集中する個所での使用は非常に効果的になります。



例) ② 端末および③ が① サーバに大量にデータを送っている際に、④ 端末から⑤ 端末にデータを送る場合



データの流れを図で示すと次のようになります。



HUB-A がシェアード HUB の場合	データの流れ	HUB-A がスイッチング HUB の場合
同時に (A) サーバへデータが送られた HUB-A にてコリジョンが発生	(B) 端末および (C) 端末 ↓ (A) サーバ	サーバと HUB 間でフルデュプレックス転送が行なわれる。また、HUB にデータのバッファリングが行なわれているため、コリジョンは発生しない
上記で送られたデータが HUB-A を占有しているため、再度コリジョンが発生	(D) 端末 ↓ (E) 端末	上記でで使用されているポート以外にはパケットを流さないため、コリジョンは発生しない

N-Way 自動ネゴシエーション

N-Way自動ネゴシエーションとは、接続されているネットワークデバイスの速度やモードを検知し、自動的に常に最適な速度で通信するように環境を設定するための機能です。本製品では、すべてのポートが、N-Way自動ネゴシエーション機能に対応しています。

ネットワークに接続されると、自動的に接続先に合わせて、10BASE-Tまたは100BASE-TXのモードに設定され、接続が終了するまでそのモードで通信を行ないます。

また、N-Way自動ネゴシエーションは、従来の10BASE-T/100BASE-TXにも対応しているため、接続しているネットワークデバイスがN-Way自動ネゴシエーションに対応していない場合でも使用することができるなど、完全に互換性が保たれています。

N-Way自動ネゴシエーションでの接続先ネットワークの環境と、本製品の送信/受信速度との関係は次のようになります。

接続ネットワーク	本製品の送信/受信速度
10Mbps N-Way 自動ネゴシエーション未対応	10Mbps
10Mbps N-Way 自動ネゴシエーション対応	10/20Mbps フルデュプレックス
100Mbps N-Way 自動ネゴシエーション未対応	100Mbps
100Mbps N-Way 自動ネゴシエーション対応	100/200Mbps フルデュプレックス

フローコントロール/バックプレッシャー

送信側の転送速度が受信側の転送速度より速い場合、送信側から送られたデータが多いため受信側のバッファメモリからデータがあふれてしまい、データを損失することがあります。フローコントロールやバックプレッシャーを使用すると、送信側と受信側の間でデータの転送状況を確認し合うため確実にデータを転送します。

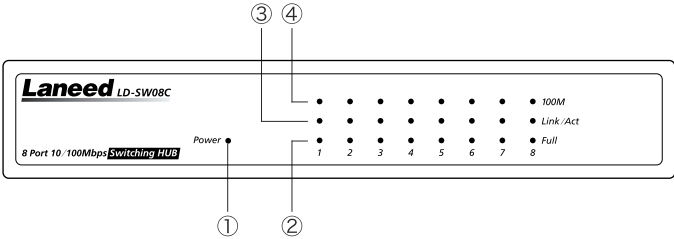
フルデュプレックス時にはフローコントロール、ハーフデュプレックス時にはバックプレッシャーを使用します。

本製品はIEEE802.3xに準拠しているため、フローコントロールやバックプレッシャーを使用できます。

5. 各部の名称とはたらき

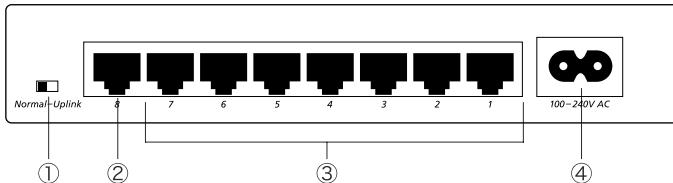
ここでは、本製品の各部の名称とはたらきについて説明します。

■正面部



①	パワーランプ (Power)	本製品の電源が入ると緑色に点灯します。
②	フルデュプレックスランプ (Full)	各ステーションポートがフルデュプレックスモードのとき、緑色に点灯します。データの衝突が起こったときは、緑色に点滅します。
③	リンク/アクティビティランプ (Link/Act)	各ステーションポートにステーションが接続されると、緑色に点灯します。 各ステーションポートでデータが送受信されると、緑色に点滅します。
④	100Mbps ランプ (100M)	ステーションポートに 100Mbps で接続されると緑色に点灯します。 ステーションポートに何も接続されていないか、10Mbps で接続されているときは点灯しません。

■背面部



①	ストレート/クロス切替スイッチ	ステーションポート/アップリンクポート(8)をステーションポートとして使用するか、アップリンクポートとして使用するかを切り替えます。他の HUB のステーションポートカスケード接続する場合、右側の「Uplink」に合わせると、アップリンクポートとして使用できます。ステーションポート (8) として使用する場合は、左側の「Normal」に合わせます。ステーションポート、アップリンクポートで使用するどちらの場合も、UTP または STP ストレートケーブルを使用します。
②	ステーションポート/アップリンクポート(8)	ストレート/クロス切り替えスイッチを使って、アップリンクポートまたはステーションポート(8)として使用します。
③	ステーションポート(1 ~ 7)	サーバやワークステーションとカテゴリ 5 の UTP ストレートケーブルで接続するときに使う RJ-45 モジュージャックです。N-Way 自動ネゴシエーション機能により、10/20/100/200Mbps のいずれかの速度で接続されます。
④	電源コネクタ	付属の電源コネクタを差し込みます。

6. ネットワークの構成を決める

本製品の設置や接続をする前に、ネットワークの構成を決める必要があります。

ここでは、本製品の特長を有効にご利用いただくための注意点やネットワーク構成例について説明します。

●ネットワークを構成する際の注意点

- 接続に使用するケーブルは、カテゴリ5のUTPケーブルを使用します。
- カスケード接続（HUB－HUB間の接続）をする場合は、カスケード接続用のポート（本製品ではアップリンクポート）とステーションポートをストレートケーブルで接続します。

メモ

ケーブルにはSTP（シールドありツイストペアケーブル）とUTP（シールドなしツイストペアケーブル）があります。本製品では、カテゴリ5のUTPケーブルを使用します。弊社製10BASE-T/100BASE-TXケーブルはすべてUTPケーブルになっています。

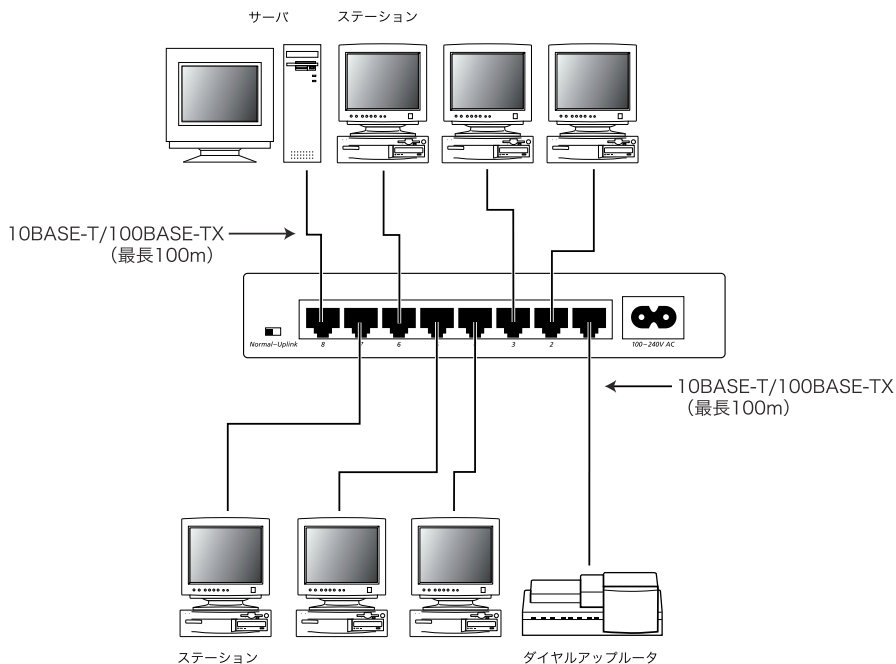
スタンドアロン(スター型)

100BASE-TXや10BASE-Tを使用して、ステーションポートとサーバやステーションを接続し、スタートポロジのネットワークを構成します。この場合、10/100Mbpsステーションポートが最大8ポート使用できます。

本製品と各ステーションとの間の最大ケーブル長は100mです。

メモ

接続方法については、19 ページを参照してください。



カスケード接続

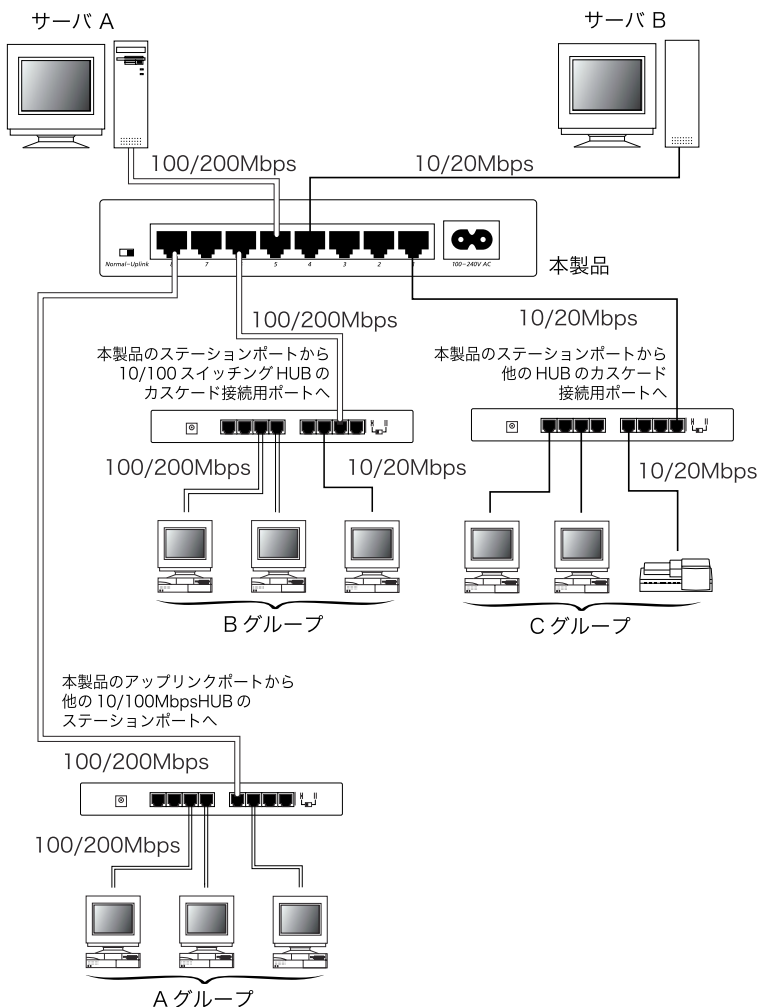
100BASE-TXまたは10BASE-Tのストレートケーブルを使用して、本製品のアップリンクポートと別のHUBのステーションポートの1つとをカスケード接続します。

⚠ 注意

カスケード接続で使用するストレートケーブルには、HUB とステーションを接続しているケーブルと同じタイプのものを使用してください。

📝 メモ

接続方法については、19 ページを参照してください。



7. 設置と接続をする

ここでは、本製品の設置と接続のしかたについて説明します。

設置の前に

本製品を使ってネットワークを構築するまえに、次の点に注意してください。

●設置場所の確認

本製品は次のような場所に設置してください。

- ・すべてのステーションの中心になるところ。
- ・近くに電源コンセントがあるところ。
- ・温度が0～40℃、湿度が5～90%(結露がないこと)に保たれているところ。直射日光が当たる場所、水がかかるおそれのある場所、ほこりが多い場所は避けてください。

接続する

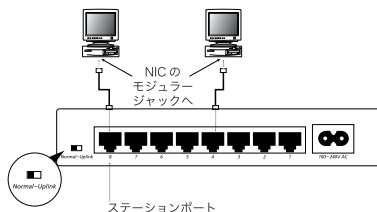
次の手順で、本製品にステーションやその他のHUBを接続してください。



接続する前に、16 ページ「6.ネットワークの構成を決める」をお読みにになり、ネットワークの構成を決めておいてください。

1. 本製品にサーバやステーションを接続します。

- カテゴリ5のストレートケーブルを使って本製品のステーションポートと、サーバやステーション上のネットワークボード(NIC)のRJ-45 モジュージャックを接続します。
- 他にHUBを増設しないで使うときは、ストレート/クロス切替スイッチを左側のNormalに合わせます。ステーションポート(1～8)が使用できます。



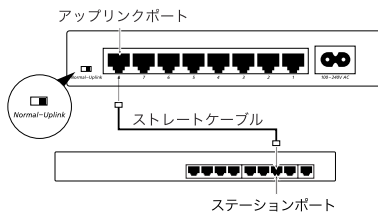
⚠ 注意

本製品のステーションポートやアップリンクポートに、電話回線のコードなど規定外のコードやケーブルを差し込まないでください。故障の原因になります。

2. 他に HUB を増設する場合は、カスケード接続します。

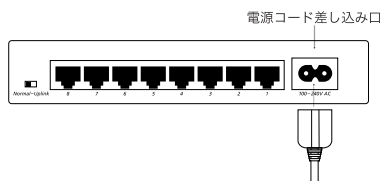
- ストレートケーブルを使って本製品のアップリンクポートと、他の HUB のステーションポートを接続します。

ストレート/クロス切替スイッチを右側の Uplink に合わせ、ステーションポートにストレートケーブルを接続します。



3. 電源ケーブルを AC コンセントに接続します。

- 前面のパワーランプが緑色に点灯します。



注意

付属の電源ケーブル以外は、絶対に使用しないでください。

8. 困ったときは…

ここでは、問題が発生した場合の対処方法について説明しています。

■本製品のポートに接続しても、リンク/アクティビティランプ(Link/Act)が緑色に点灯しない。

- ・ 接続先の電源は投入されていますか。

●接続先が端末(NIC)である場合

- ・ 端末の電源が投入され、ネットワークボードが正しく OS 上で認識されていますか。
- ・ カテゴリ 5 のストレートケーブルを使用していますか

●接続先が HUB である場合

- ・ ストレートケーブルで接続するとき、
 - ・ 本製品のアップリンクポートと相手先のステーションポートに接続されていますか。
 - ・ 本製品のアップリンクポートと相手先のステーションポートを接続するとき、ストレート/クロス切替スイッチは右側の Uplink に合っていますか。
 - ・ 本製品のステーションポートと相手先のカスケード用ポート(本製品ではアップリンクポート)に接続されていますか。
 - ・ 本製品のステーションポート(8)と相手先のステーションポートを接続するとき、ストレート/クロス切替スイッチは左側の Normal に合っていますか。
- ・ クロスケーブルで接続するとき、
 - ・ 本製品のステーションポートと相手先のステーションポートに接続されていますか。
 - ・ ストレート/クロス切替スイッチは、左側の Normal に合っていますか。

■リンク/アクティビティランプ(Link/Act)は点灯するがデータが正常に転送できない。

- ・ ケーブル長が 100m を超えていませんか。
- ・ ケーブルはカテゴリ 5 に対応していますか。
- ・ ケーブルが高電圧線に沿って配線されていませんか。

■リンク/アクティビティランプ(Link/Act)は点灯するが、トラフィックが不規則になる。

- ・ 接続されているサーバやステーションがフルデュプレックスに設定されていないことを確認してください。フルデュプレックスに設定されていても、接続先が N-Way 自動ネゴシエーションに対応していない場合、ハーフデュプレックスとして認識されます。

以上の方法でも問題が解決しない場合は、Laneedサポートセンターへ連絡してください。
(次ページ参照)

Laneed サポートセンターへ連絡する前に

Laneedサポートにご連絡いただく際には、迅速にサポートができるように、次の内容を事前に調査・確認していただいた上でご連絡いただきますようお願いいたします。

ご連絡いただく際には、不具合の発生する端末もしくは HUB の前から連絡いただきますと、スムーズにサポートが行なえます。

ネットワークの環境について確認します。

- ・ 使用している OS とバージョン
- ・ 使用しているネットワークアダプタのメーカー名、型番、設定内容
- ・ 使用しているケーブルの種類、メーカー名
- ・ ネットワーク構成や、ネットワークに接続しているパソコンの台数

不具合の状況について確認します。

- ・ 本製品のパワーランプ(Power)は点灯していますか。
- ・ 本製品のリンク／アクティビティランプ(Link/Act)や、接続しているネットワークアダプタのリンクランプの状態はどうなっていますか。
- ・ 本製品のフルデュプレックスランプ(Full)の状態はどうなっていますか。

以上の内容を確認の上、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

9. 仕様

ここでは、本製品の仕様を示しています。

規 格		IEEE802.3/IEEE802.3u/IEEE802.3x Class II リピータ準拠
伝送方式		Store&Forward 方式
インターフェイス		10/100Mbps ステーションポート (RJ-45) : 8 ポート (10/100Mbps アップリンクポート使用時は 7 ポート) 10/100Mbps アップリンクポート (RJ-45) : 1 ポート
トポロジ		スター
アクセス方式		CSMD/CD
伝送速度	半二重	10Mbps/100Mbps
	全二重	20Mbps/200Mbps
メディア	10Mbps	カテゴリ 3, 4, 5 の UTP(シールドなしツイストペア)ケーブル
	10/100Mbps	カテゴリ 5 の UTP および STP ケーブル
フィルタリ ングレート	10Mbps	14880 パケット/秒
	10/100Mbps	148800 パケット/秒
MAC アドレス		8K
バッファメモリ		256KB
HUB⇄ステーション間の 伝送距離		100m
カスケード接続時の HUB 間の伝送距離		最大 100m
動作温度		0 ～ 40℃
保管温度		-20 ～ 70℃
湿 度		5 ～ 90 % (結露しないこと)
電 源		AC 100 ～ 240V
最大消費電力		5W
重 量		500g
寸 法		(W)177mm (H)31mm (D)103mm

●RJ-45 ポートピン配列

ピン番号	信 号	
	ステーションポート	アップリンクポート
1	受信データ +	送信データ +
2	受信データ -	送信データ -
3	送信データ +	受信データ +
6	送信データ -	受信データ -
4, 5, 7, 8	未使用	未使用

M E M O

10/100Mbps Switching HUB

LD-SW08C

User's Manual

発行 エレコム株式会社

2000 年 5 月 20 日 第 1 版

LD-SW08C

Laneed

ELECOM